

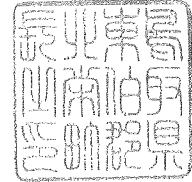
監査委員	前田	茂樹	坂田	監査
前田	坂田	坂田		坂田

受総第 7-8 号

平成 24 年 2 月 13 日

北栄町代表監査委員 前田 茂樹 様
北栄町監査委員 阪本 和俊 様

北栄町長 松本 昭夫



平成 23 年度第 2 回定期監査の結果について (回答)

平成 24 年 2 月 13 日付けで報告のありましたこのことについて、別添のとおり回答します。

担当

総務課財政係 渡辺

電話 : 0858-37-3111

FAX : 0858-37-5339

メール : watanabe@e-hokuei.net



4 監査意見

(1) 北条農業交流農園（フルーツドーム）について

平成4年度「新しいブドウ品種の栽培研究と展示」を目的に設置された農園（国坂 2,479 m²）は、現在建物（ドーム）の壁は破損し、ドーム内のぶどうは管理されていない。ドームに隣接する農園にはネギが栽培されている。この土地及び施設は、平成15年から農家と管理利用契約を交わし、年間22,000円を徴収している。一方、町はこの土地のかんがい用水費、消防設備保守点検料として年約44,000円支出している。

現況からみると、設置の目的を果たすことは困難と思われることから、早期の処分を含めた対応を検討されたい。

回答

当初の設置目的を果たすことが困難と思われることはご指摘のとおりですが、農園を処分することとした場合、建物撤去、かんがい用水廃止に伴い高額の費用が発生しますし、立地上の観点からも処分後直ちに有効な活用や景観維持を期待することはできないと考えられます。

こうした状況を考慮に入れながら、現在農園を利用されている農家の意見も伺った上で、農園の処分を行うか否か、どういう形で処分を行うか等、今後検討していきます。

(2) 入札に係る予定価格の入札前公表について

平成22年度一般会計及び特別会計の建設工事契約（500万円以上）は47件、契約金額1,418,114千円（1件当たり30,173千円）となっている。

落札率（予定価格に対する落札価格の比率）は、93.6%となっている。平成17年度からの落札率の推移は、次のようになっている。

平成17年度	97.5%
平成18年度	91.7%
平成19年度	90.5%
平成20年度	92.7%
平成21年度	92.6%
平成22年度	93.6%

一度下降し、再度上向き傾向がみられる。より適正な競争が働く方策を検討されたい。

現在、入札に関し予定価格を入札前に公表するいわゆる事前公表が全ての入札で行われているが、予定価格が目安となって競争が制限され、落札価格が高止まりになること、建設業者の見積もり努力を損なわせること、入札談合が容易に行われる可能性があること等の弊害が懸念されることから、事前公表の適否について検討されたい。

回答

入札制度につきましては、予定価格事後公表の試行、指名業者の非公表、総合評価方式の本格導入・拡充などの取組を合併以来行っているところで

すが、今後も適正な競争が保たれるような制度を検討していきます。

また、予定価格の事前公表の適否についてですが、過去に試行した結果からも公表の有無による落札率の差は認められず、入札時の積算内訳の添付、指名業者の非公表の徹底により、公平・透明性の確保の点からも引き続き事前公表としていきます。

(3) 災害用備蓄物資の分散保管について

町地域防災計画に基づく災害用備蓄物資は、北条ふれあい会館内の倉庫に一括保管されている。

災害時の避難生活に必要な物資であることから各避難所に容易に供給できる場所に分散備蓄するのが適当と思われる。

回答

備蓄倉庫の被災危険度分散の面からも災害用備蓄物資の分散備蓄が必要であると考えています。各避難所との近接性や備蓄品の管理面などを考慮し、当面は大栄地区に一カ所備蓄倉庫を設置することを検討しています。